

# 第4章 生命表

## 1 平均寿命の推移（表1、図1）【統計編 3-第2表】

平均寿命（0歳の平均余命）は男女とも戦後大幅に延び、平成に入ってからには緩やかな上昇傾向を示している。

令和元年の平均寿命は男81.19年、女86.97年で、前年と比較すると、男は0.27年上回り、女は0.14年下回った。

本県と全国とを比較すると、昭和50年までは男女ともに全国を下回っていたが、昭和55年には男73.72年、女78.46年となり、男が全国を上回った。その後、男は平成20年まで全国を上回る傾向で推移していたが、近年では、全国を下回る傾向で推移している。

表1 平均寿命の推移、対全国

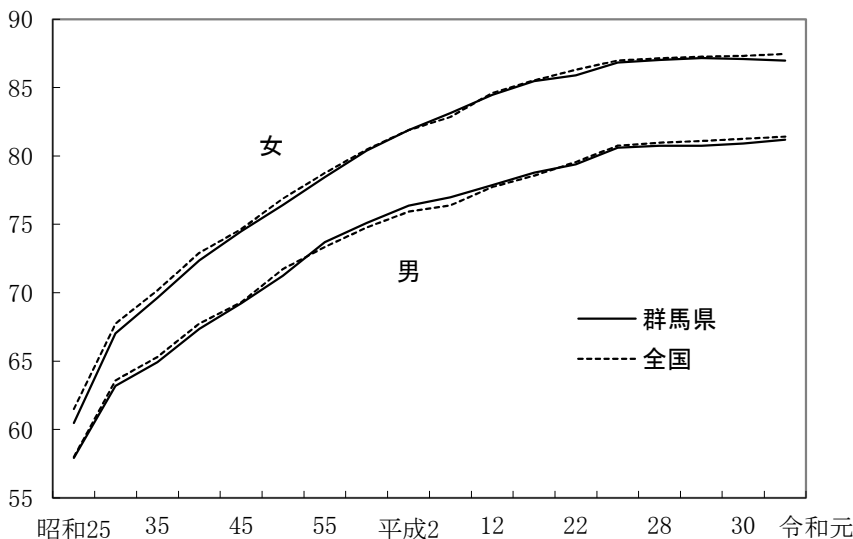
年次	群馬県(A)		全国(B)		全国との差 (A)-(B)	
	男	女	男	女	男	女
昭和25	57.94	60.49	58.00	61.50	△0.06	△1.01
30	63.20	67.03	63.60	67.75	△0.40	△0.72
35	64.94	69.62	65.32	70.19	△0.38	△0.57
40	67.34	72.38	67.74	72.92	△0.40	△0.54
45	69.22	74.50	69.31	74.66	△0.09	△0.16
50	71.23	76.42	71.73	76.89	△0.50	△0.47
55	73.72	78.46	73.35	78.76	0.37	△0.30
60	75.11	80.39	74.78	80.48	0.33	△0.09
平成2	76.36	81.90	75.92	81.90	0.44	-
7	76.98	83.12	76.38	82.85	0.60	0.27
12	77.86	84.47	77.72	84.60	0.14	△0.13
17	78.78	85.47	78.56	85.52	0.22	△0.05
22	79.40	85.91	79.55	86.30	△0.20	△0.41
27	80.61	86.84	80.75	86.99	△0.14	△0.15
28	80.75	87.03	80.98	87.14	△0.23	△0.11
29	80.76	87.15	81.09	87.26	△0.33	△0.11
30	80.92	87.11	81.25	87.32	△0.33	△0.21
令和元	81.19	86.97	81.41	87.45	△0.22	△0.48

【出典】

群馬県：平成27年以前は都道府県別生命表（厚生労働省）。それ以外は群馬県簡易生命表（県健康福祉課）

全国：平成27年以前は完全生命表（厚生労働省）。それ以外は簡易生命表（厚生労働省）

図1 平均寿命の推移、対全国



## 2 主な年齢の平均余命（表2）【統計編 3-第1表】

主な年齢の平均余命を前年と比較すると、男は60歳以下のすべての年齢で前年を上回った。女は70歳、75歳を除くすべての年齢で前年を下回った。また、主な年齢の平均余命を全国と比較すると、男女ともにすべての年齢で全国を下回った。

表2 主な年齢の平均余命とその伸び、対前年・全国

年齢	群馬県						全国					
	男			女			男			女		
	平成30年	令和元年	伸び	平成30年	令和元年	伸び	平成30年	令和元年	伸び	平成30年	令和元年	伸び
0歳	80.92	81.19	0.27	87.11	86.97	△0.14	81.25	81.41	0.16	87.32	87.45	0.13
5歳	76.13	76.33	0.20	82.30	82.20	△0.09	76.47	76.63	0.16	82.53	82.66	0.13
10歳	71.17	71.34	0.17	77.31	77.24	△0.07	71.49	71.66	0.16	77.56	77.69	0.13
15歳	66.22	66.34	0.12	72.38	72.25	△0.12	66.53	66.69	0.16	72.58	72.72	0.13
20歳	61.29	61.41	0.12	67.44	67.31	△0.13	61.61	61.77	0.16	67.63	67.77	0.13
25歳	56.45	56.56	0.11	62.50	62.37	△0.14	56.74	56.91	0.17	62.70	62.84	0.14
30歳	51.64	51.69	0.05	57.58	57.46	△0.12	51.88	52.03	0.15	57.77	57.91	0.14
35歳	46.80	46.83	0.03	52.66	52.53	△0.12	47.03	47.18	0.15	52.86	53.00	0.14
40歳	41.95	42.03	0.08	47.75	47.63	△0.12	42.20	42.35	0.15	47.97	48.11	0.14
45歳	37.19	37.25	0.06	42.89	42.81	△0.08	37.42	37.57	0.15	43.13	43.26	0.14
50歳	32.54	32.61	0.07	38.15	38.07	△0.08	32.74	32.89	0.14	38.36	38.49	0.13
55歳	27.95	28.04	0.09	33.45	33.39	△0.06	28.21	28.34	0.14	33.66	33.79	0.13
60歳	23.56	23.63	0.07	28.78	28.76	△0.02	23.84	23.97	0.14	29.04	29.17	0.13
65歳	19.50	19.42	△0.07	24.21	24.19	△0.02	19.70	19.83	0.13	24.50	24.63	0.12
70歳	15.67	15.67	△0.01	19.79	19.85	0.06	15.84	15.96	0.12	20.10	20.21	0.11
75歳	12.15	12.13	△0.02	15.61	15.62	0.01	12.29	12.41	0.12	15.86	15.97	0.11
80歳	8.88	8.86	△0.01	11.70	11.69	△0.00	9.06	9.18	0.12	11.91	12.01	0.09

(注) 小数点第3位を四捨五入しているため、伸びの値が令和元年と平成30年の差と一致しない場合がある。

【出典】群馬県：群馬県簡易生命表（県健康福祉課） 全国：簡易生命表（厚生労働省）

## 3 特定年齢の生存数（表3）

令和元年群馬県簡易生命表によると、男女それぞれ10万人の出生に対して65歳の生存数は男89,968人、女94,391人となっている。これは65歳まで生存する者の割合が男は90.0%、女が94.4%であることを示している。同様に80歳までの生存割合は男が63.6%、女が80.9%となっている。

また、特定年齢まで生存する者の割合を全国と比較すると、男は65歳が0.4%上回り、80歳が0.6%下回った。女は65歳が0.1%、80歳が0.9%下回った。

表3 生命表上の特定年齢まで生存する者の割合、対全国

年次	群馬県				全 国				全国との差			
	男		女		男		女		男		女	
	65歳	80歳	65歳	80歳	65歳	80歳	65歳	80歳	65歳	80歳	65歳	80歳
昭和 55	80.9	39.0	88.6	56.1	79.4	37.8	88.5	57.0	1.5	1.2	0.0	△ 0.9
60	81.9	43.9	90.0	62.8	81.1	42.8	90.1	63.0	0.8	1.0	△ 0.1	△ 0.2
平成 2	83.8	48.4	91.2	67.7	82.6	46.9	91.3	67.8	1.2	1.5	△ 0.1	△ 0.1
7	84.1	50.8	91.9	70.8	83.3	48.2	91.6	70.2	0.8	2.6	0.3	0.5
12	85.0	53.0	92.5	74.2	84.7	52.5	92.6	74.5	0.3	0.5	△ 0.1	△ 0.3
17	86.0	55.8	93.0	76.4	85.7	55.2	93.1	76.8	0.3	0.6	△ 0.1	△ 0.4
22	86.8	58.4	93.4	77.9	87.0	58.9	93.6	79.0	△ 0.2	△ 0.5	△ 0.2	△ 1.1
27	88.6	61.9	94.3	80.6	88.8	62.6	94.2	80.9	△ 0.2	△ 0.7	0.1	△ 0.3
28	89.0	62.7	94.6	80.7	89.1	63.3	94.3	81.2	△ 0.1	△ 0.6	0.3	△ 0.4
29	89.1	63.0	94.6	81.6	89.4	63.5	94.5	81.5	△ 0.3	△ 0.5	0.1	0.1
30	89.1	63.3	94.7	81.1	89.5	63.8	94.5	81.5	△ 0.4	△ 0.5	0.2	△ 0.4
令和 元	90.0	63.6	94.4	80.9	89.6	64.2	94.5	81.8	0.4	△ 0.6	△ 0.1	△ 0.9

【出典】群馬県：平成27年以前は都道府県別生命表（厚生労働省）。それ以外は群馬県簡易生命表（県健康福祉課）。

全 国：平成27年以前は完全生命表（厚生労働省）。それ以外は簡易生命表（厚生労働省）